

PLAY JEWELLERY - WEAR ARCHITECTURE | プレイ・ジュエリー ウェア・アーキテクチャー  
ー建築を通してジュエリーを考えるー

永山祐子、中村竜治 二人の建築家による展示  
2015年12月12日(土)～2016年1月30日(土) 東京都渋谷区 (PLACE) by methodにて開催  
オープニングパーティ: 12月11日(金) 19:00より



2015年12月12日(土)～2016年1月30日(土)の期間、methodが運営するギャラリー(PLACE) by methodにて「PLAY JEWELLERY - WEAR ARCHITECTURE」が開催されます。

本展は、東京都庭園美術館(2015年10月10日～12月27日)にて開催中の「オットー・クンツリ展」と平行して行われているサテライト・プログラム「プレイ・ジュエリー: よそおう、つくる、かんがえる」の一環として展開します。日本を拠点に活動するドイツ人ジュエリーアーティスト、スーザン・ピーチが「SCHMUCK2 | シュムック2」名義で続ける活動により企画された、この新たなプロジェクトは、ジュエリーと建築との間の相互作用を個人と公の両方の視点から模索し、建築の文脈の中でジュエリーを考え、ジュエリーの新たな定義を考えることを主な目的としています。

本展覧会では、永山祐子と中村竜治の二人の建築家が、私的と公的領域について考えると共に、ジュエリーと建築の共通性を広く認識するための相互作用に着目します。

本展に先駆け、永山祐子と中村竜治の二人に加え、長坂常と中山英之という二名の建築家も迎え、ジュエリーと建築の間に存在する共通点や違いは何か、どのような相互作用をもたらすことができるのか、等を話し合うディスカッションを行い、その内容をさらに発展させ、今回の展覧会の運びとなりました。

永山祐子より:

たとえそれがなくとも建物は機能として成立している。でも、それがあつて建築も新しい見え方、意味、コミュニケーションが生まれる。それが装飾であり、装飾を現象として作ることでそこに時間と空間、見る人を含んだ可変性が生まれる。ジュエリーも同じように考えられる。それが身体上だというだけだ。

中村竜治より:

建築における装飾は、ある意味、建物の大きさを表現する物差しのようなものであると言える。そのように装飾というものを観察すると、鮮明で新鮮なものに感じられるようになる。本展では、建物のための装飾と人のための装飾の中間的なものをつくることで、建築とジュエリーの装飾性について考みたい。

## PLAY JEWELLERY - WEAR ARCHITECTURE 開催概要

会期：2015年12月12日（土）～2016年1月30日（土） 12:00～19:00

会場：(PLACE) by method 東京都渋谷区東1-3-1 カミニート#14

電話番号：03-6427-9296 URL：http://wearemethod.com/

※会期中、日・祝日は閉廊しておりますのでご注意ください。

※12月26日（土）～1月5日（火）の間、冬期休業となります。

**オープニングパーティー：12月11日（金） 19:00～21:00**

---

## Schmuck2 / シュムック2 (ドイツ/日本) <http://www.schmuck2.de/>

スーザン・ピーチ（ドイツ/日本）は長年にわたり、シュムック2の活動を通じてジュエリーを用いた多面的な表現を模索しています。様々なプロジェクトの発案に関わる中、一般参加型の企画など、コンテンポラリー・ジュエリーの領域でユニークな展示会を行う事で、シュムック2の名声を確立しました。ピーチは異なる文化を持つ人々が共に作業できるようきっかけ作りに努め、ファインアートと応用美術にまたがる型破りな概念を用いて、ジュエリーとの関わり方を独特かつ多面的な視点から再考しています。



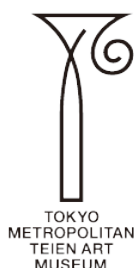
永山祐子 <http://www.yukonagayama.co.jp/>

1975年東京生まれ。1998年昭和女子大学生生活美学科卒業。1998～2002年 青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事、「LOUIS VUITTON 京都大丸店」、「丘のある家」、「ANTEPRIMA」、「カヤバ珈琲」、「SISII」、「木屋旅館」、「豊島横尾館」、「渋谷西武AB館5F」など。ロレアル賞奨励賞、JCDデザイン賞奨励賞、AR Awards (UK) 優秀賞「丘のあるいえ」、(2006)、ARCHITECTURAL RECORD Award, Design Vanguard2012、JIA新人賞「豊島横尾館」(2014)など。



中村竜治 <http://www.ryujinakamura.com>

1972年長野県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了後、青木淳建築計画事務所を経て、2004年に中村竜治建築設計事務所を設立。主な仕事に、「空気のような舞台」(新国立劇場オペラ「ル・グラン・マカーブル」舞台美術)、「とうもろこし畑」(東京国立近代美術館「建築はどこにあるの? 7つのインスタレーション」)、「梁」(東京オペラシティ・アート・ギャラリー「感じる服 考える服: 東京ファッションの現在形」会場構成)など。主な受賞にTHE GREAT INDOORS AWARD(NL)、JCDデザインアワード大賞など。東北大学、早稲田大学芸術学校非常勤講師を勤める。



本展は、現在開催中のオットー・クンツリ展のサテライトプログラムとなります。

## オットー・クンツリ展

会期：2015年10月10日（土）～12月27日（日）

会場：東京都庭園美術館（本館・新館）東京都港区白金台5丁目21-9

電話番号：03-3443-0201

[www.teien-art-museum.ne.jp/](http://www.teien-art-museum.ne.jp/)

## method | メソッド

デザイン、ファッション、アート、工芸、食など、一切のジャンルを問わず、より自由な見地から、あらゆる分野で産み出されるモノに対しての「潤滑油」としての役割を果たすべく、店づくりを中心に、日々、様々な仕事をてがげ、代表 山田遊のもと、ショップのバイイングやディレクションを手掛けています。

methodなりの視点や言葉、また、その結果としての行動と表現を介することで、モノの作り手や売り手、さらには受け手との狭間で媒介となり、良きモノが持続して作られ、また、より良きモノが新たに産み出されていく。

そんな状況が実現することを夢見て、まずは、身の周りから、現状を更新することに対して情熱を注ぎ、結果、より成熟した社会が成立していくことを、理想として掲げています。

## 山田遊 (バイヤー、監修者)

東京都出身。

南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method (メソッド) を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れる ショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社 が発売される。グッドデザイン賞審査委員をはじめ、各種コンペティションの審査員や、京都精華大学非常勤講師など、教育機関や産地などでの講義・講演など、多岐に渡り活動中。

## 活動内容一例

ショップディレクション、バイヤー、VMD業務

国立新美術館内ミュージアムショップ「SOUVENIR FROM TOKYO BY CIBONE」

東京発のセレクトショップ「Tokyo's Tokyo」Haneda、Harajuku

新しいりサイクルショップ「PASS THE BATON」、etc.

イベント関連

燕三条地域の工場を開放するイベント「燕三条 工場の祭典」全体監修  
SHOWCASE (主催3社のうちの1社)、etc.

プロダクト開発、監修

東京タワー オリジナルグッズ

花火のセレクトショップ「fireworks」、etc.

贈呈品セレクト

APEC 2010 (アジア太平洋経済協力会議)、IMF (国際通貨基金) ・WB (世界銀行) 年次総会2012、etc.

## methodが運営するギャラリースペース (PLACE) by method

ファッションの展示会や受注会、クリエイターの展覧会会場として、ご活用いただいています。  
貸し出し等につきましては、個別にお問い合わせ下さい。




---

General Contact :           method inc. 150-0011東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号  
Tel : 03-6427-9296           Fax : 03-6427-9297           mail : [info@wearemethod.com](mailto:info@wearemethod.com)

method Press Support :   HOW INC.  
Tel : 03-5414-6405           Fax : 03-5414-6406           mail : [info@how-pr.co.jp](mailto:info@how-pr.co.jp)